

令和元年度 大阪府立福井高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

日時 令和2年2月26日(水) 10:30~12:00

場所 本校 校長室

★ 事務局より活動報告

【入学者選抜概況】

- ・日本語指導が必要な生徒の特別枠では、13名の生徒が受験した。

【生徒指導部「1年間を振り返り成果と課題」】

- ・コスモス生に対して、学校だけではなく、家庭と連携して指導したいと考えているが、連絡がつきにくく、学校にもなかなか来ていただけない等、家庭の協力が得難く困難である。
- ・「制服を大事して欲しい思いと安全面」のため、指定のセーター・ベストを導入する。

【特別活動部報告】

- ・6月時点で、部活動加入率が40.4%と昨年の43.7%から更に下がった。(1年生は40.8%)
- ・生徒会が朝の挨拶運動、陸上競技部全国大会出場、男子バスケットボール部大阪府選手権ベスト16など。

【34期生進路状況】

- ・大学短大3割、専門4割。昨年と比較し、就職が増え31名、自衛隊4名が含まれる。
- ・大学については、AO・指定校が多いが、龍谷1名一般入試で合格。
- ・浪人生で、関西大学、立命館大学、龍谷大学、摂南大学、追手門学院大学の合格者がでた。
- ・専門学校は、美容系・メイク・調理系に進む生徒が増えた。
一方、芸能関係はやや減った。給付型の奨学金の対象にならないのが影響か。
- ・奨学金生徒が大きく変わり、年2回の募集が、年1回になった。給付型の対象が増えた。
結果が出るのが12月末ごろになり、生徒、保護者が不安を感じていた。
- ・就職は、超売り手、例年の3倍。来年度は、コロナ等のこともあり、一転非常に厳しいのではと危惧。
- ・来年度、コスモス生の人数が非常に多い、より早めの対応が必要。

【人権保健部「今年度の取組み」】

- ・数多くの人権HRを行っている学校である。1年生は、8名の外国人の方から多文化を学び、
2年生は、車いすダンスなど、いずれも、興味を持って前向き取り組んでいた。
3年生は、部落問題学習として学年全体で講師の講義を伺ったが、生徒は食い入るように聞いていた。
- ・職員人権研修も4回、事例検討会も3回行った。

【多文化共生プロジェクトより】

- ・数では5%の生徒に教員の50%の労力を使っていると言っても言い過ぎでないのが現状。
- ・母語指導があるのが大阪の特徴
- ・遠距離通学者が多い。母国に加えて、中学校でなじんだ地域からも離れて福井まで来る生徒が多く、
地域からの支援が受けにくい。その意味で不遇。

【国際交流報告】

- ・来年度、オーストラリア語学研修に行く予定。
- ・多文化共生プロジェクトとも連携を図りながら、状況の変化に対応した活動を行っていく。

【ここまでに関するご意見・質疑応答】

委員 PTA 主催の「多文化共生」の講演会で、母国・地域から離れたコスモス生に何とかいい感じで卒業してもらいたいと感じたが、ちょっとしたトラブルが多発している報告もいただいている。

福井高校生全体が、礼儀正しいし、きちんとしているなどになったら、全体的に変わってくるのでは？ 先生方のしていることが生徒にその後、役立つようになってほしいと思う。

学校 多文化共生・国際交流に結びつけ、よりよい方向にもっていかないと考えている。

委員 茨木市の中学校の在日外国人協議会の集いへ、コスモス生が来て、とても良い話をしてくれた。

中学生・小学生が聞いてちょっと安心する。存在自体が素敵な雰囲気を出していた。身近な地域から、頑張っているところが見えにくいのが、伸ばして行ってほしい。中学校・小学校との連携が大事。

委員 特別枠を実施する学校限られている。教育委員会が、中学校に指導を入れてくれないと、地域である中学校近くの高校が引き受けることは難しいだろう。

学校 新たに特別枠の学校を作るより、福井に先生を増やして欲しいとお願いしているが、大阪大学の院生などにも助けてもらってやり繰りしているのが現状。進路に関して、「留学生」を受け入れている大学でも日本の学校に在籍している外国ルーツ生徒には、厳しい入試制度・方法しかないことが多い。

委員 追手門学院大学にも国際教養学部などあり、広範囲の留学生がいるので活用できるかも？

学校 追手門学院大学から日本語の教員育成課程への協力について打診を受けている。

【総合学科推進会議報告】

・新学習指導要領への対応を考えながら39期生に照準を合わせて、37期生からカリキュラムの準備を行う。新教育課程を確定し、先進校見学も踏まえながら、来年度の群分け等を検討する。

・ドリカムルームを、タブレットPC、レイアウト可能な机・プロジェクタ等を備えたアクティブラーニング教室に更新。

【地域連携活動の記録】

・とよかわネットの活動として、豊川小学校に「コスモス生」及び「復活した『たんぼぼメイト』」の出前授業を行った。高校生の生の姿を見て喜んでくださったのでできるだけ増やしていきたい。

【Y 7口活動報告】

・福井小学校への出前授業を増やし、3日間にわたって行った。

・相互授業の期間を11月に設け、研究協議とグループワークを行った。

・研修で集まる時間が作れないため、来年度は、学年団で助言担当を置く等の若手支援の体制を整える。

【広報活動報告】

・オープンスクールの人数が伸び悩んだ。しかし、福井高校をよく考えてくれている生徒が増えた印象。

・2月22日の学校説明会は59名の参加。雨、コロナの中で、比較的健闘した。

・中学校訪問については、遠方の中学校については郵送を視野に入れている。

・学校ホームページを新しくした。来年度、広報・連携部が立ち上がる。

【学校教育診断表まとめ】

生徒アンケート

・「他の学校にはない特色がある」が上がっている。一方、「学びたいことが学べる」が下がっている。

・学校の設備関連が下がっている関係では、プロジェクタが整備されていない状況がある。

今年度末、プロジェクタ数台入れて、活用してもらおう。

保護者アンケート

・「学校に行くことを楽しみにしている」が上がっている。

・「生徒指導への共感」が下がっている。家庭との連携を大事にしていきたい。

教職員アンケート

- ・アンケートの提出率は低いですが、本校の課題について、鋭く活発な意見が出ている。

★ 平成31年度 学校経営評価について

- ・「学校教育自己診断の結果と分析」について、3年生対象の「総合学科アンケート」（自己診断より、はるかに良い数字）も含め、「3年間通って大変だったが、福井：総合学科でよかったな」という様子。
- ・生徒指導の回答については、「きつい」「ゆるい」の両方の意見が出ている。間をとってやっていかないけないが、単純に平均値ではさらに不満が出るだろう。厳しいが温かい指導が必要。
- ・総合学科での学びに関する肯定的回答は昨年度から上がるも目標には到達せず△評価。授業関係の評価は下がっている。教員同士がもう少し授業を見学しあうなど、切磋琢磨が必要。
- ・「将来の進路や生き方について考える機会」について、いろいろ手を打って、77%と高かったが、目標には届かなかった。
- ・地域連携についてはおかげさまで暖かく迎えられている。

★ 令和2年度 学校経営計画について

- ・「夢・発見・実現」の合言葉を前面に出しまとめた。
- ・ドリカム授業を大事にしていく中で、生徒の夢の発見・実現をめざす。
- ・主体的で対話的な授業を行い、授業を大切にするという姿勢を育てたい。そのためには、安心で安全な学校が必要であり、生徒指導的な部分も含め生徒支援体制を充実していく。
- ・キャリアパスポートについて、茨木市が先行しており、特に先進校の西中学校から積極的に学びたい。

【ここまでに関するご意見・質疑応答】

委員 総合学科になったことによって、そのシステムを生かした生徒と生かせなかった生徒がはっきり分かれるようになったのではないかと感じている。ドリカムフェスタでは、ものすごく頑張って発表していた。その緊張感は、糧になっていると思う。ドリカムフェスタを学校の一つの柱として、発信、さらに発展させていって欲しい。我こそは、自分がやるよという生徒がいっぱい出てきてほしい。

委員 子ども教室にボランティアで来ていた生徒が、バイトを始めて、来なくなってしまった。ボランティア活動を募り地域とつながることはできないか？

学校 地域実習で増単位化しようと考えている。

委員 家庭環境が厳しい生徒が多く、アルバイトが忙しい生徒が多い。その収入も家庭を助けたりなどに使っている、そういったなかで「学校に来ることが楽しい」と感じてくれるのが救われる気持ち。授業については、先生方の授業が年々変わってきており、授業改革に取り組んでこられたなど感じる。工夫した授業をしようとする時間がかかる。多忙間のある中で、チームとして機能する職場作りを核として先生方が実感を得るような職場づくりをして欲しい。

授業を受けている生徒を見ると、学ぼうとする生徒と時間だけ過ごそうとする生徒などいろいろな様子。読解力の育成と学びなおしの要素を取り入れた授業が必要ではないか？

学校 生徒を見ると、直観力は優れていると感じるが読解力には課題が大きい。

国語でも語彙力がなく、進行速度が遅く教材数が減っている。朝読など検討している。

委員 中学では、朝読を毎日しており、10分間、静かに全員やっている。茨木市のキャリアパスポートについては、幼小中、3か年で4期まで終わった。来年から新しいプランが始まる。

朝読などは、クラスの約半分の生徒(茨木市出身)ができるだろうから、全員でもできるのでは？

委員 朝読の時間は、先生方も教室で生徒と一緒に本を読んで過ごす時間になる。その時間があることで、先生方にも良い効果が期待される、ぜひ検討してみてはどうだろう。